

中和事業ガイドと行く日帰りバスの旅 秋の環境体験ツアー！

～天空の石灰石採掘現場探訪～



草津町

叶山

群馬県多野郡神流町 叶山

～平成22年10月22日～

秋の環境体験ツアーは、毎年恒例となっている『石灰石採掘現場探訪』として叶山へ向かいました。

今回のツアー参加者は**9名**で、車中では事務局職員による中和事業の説明や、簡単なクイズ、沿道の町村紹介を行いました。目的地までは長い道のりでしたが、参加者の方楽しんでいただけたと思います。



8:40出発



ツアー一行は草津町を出発し、嬭恋村、長野原町(北軽井沢)、軽井沢町、下仁田町、南牧村と順調に進み、上野村の『まほ一ぱの森』という森林公園で昼食をとりました。



12:30頃

上野スカイブリッジ

『まほ一ぱの森』付近には、深い溪谷を挟んで反対側の『川和自然公園』を結ぶ『上野スカイブリッジ』と言う名のつり橋があり、実際に渡ってみると谷はかなり深く、揺れるつり橋はスリル満点でした。このつり橋は平成10年4月に完成し、長さは225m。通行料は往復で100円です。

また、川和自然公園の公園内には、関東最大の鍾乳洞『不二洞』があります。

上野スカイブリッジはつり橋からの眺めと紅葉を楽しめる絶好の散策スポットでした。



13:20頃

事業説明

昼食後、約10分ほどで目的地である神流町の『秩父太平洋セメント(株)叶山鉱業所』に到着しました。休憩を含めると**約4時間半**の長い旅でした。

鉱業所では一番最初に事業説明を受けました。この説明で叶山周辺の一帯は、いわゆる秩父古生層に属していて、塩基性火山岩類、チャート、砂岩などからなっていることがわかりました。また、現在の叶山がある場所は太古の昔、海底火山の上に珊瑚礁が広がっていて、それが隆起し現在の山となったそうです。

説明を受けた後は、実際に石灰の採掘現場を見に行きました。鉱山内の事業用トンネルを通り、車で約10分間山道を登り、採掘現場へ到着しました。

採掘した石灰石は縦坑(縦坑と呼ばれる巨大な穴)に落とされ、その下から地下のベルトコンベヤーで運ばれます。その後1次、2次と破碎する工程を経て、下仁田の青倉工場で最終的に石灰粉となります。今回は叶山鉱業所の方の好意で前回とは違う場所も見学させていただきました。(写真の絶壁付近)産出する石灰の**8割**はセメントの原料で、残りの**2割**は工業用に使われるそうです。採掘現場は東西約1kmに長く広がっている為、まるで天空に浮かぶ滑走路のような山でした。

絶壁から下を覗く(特別に見学を許可)



直径6mの縦坑



巨大!

採掘現場

14:30頃



集合写真



叶山に咲く高山植物の保護

帰り道、長旅で疲れた参加者はバス内で眠りにつきました。管理所に到着したのは18:30頃で、今回のツアーも事故や怪我もなく無事に終了しました。

主催 環境体験アミューズメント検討会